

☆☆「新書」を活用しよう☆☆

新書とは文庫より大きく単行本より小さいサイズの本です。テーマに沿って書かれた文章が、論理的かつコンパクトにまとまっているのが特徴で、その分野の入門書にもなります。新書を読むことで、知りたい分野の知識を学びとる力、論理的文章を理解する力が身につきます。探究学習や入試対策に欠かせない資料として、新書の活用をおすすめします。



☆ 代表的な新書のシリーズ ☆

→ 文庫の裏側の書架に分類順に並んでいます。

新書名	特徴	最近図書館に入った本
岩波ジュニア新書	中高生向け新書、教養書として定評がある	『国連で働く 世界を支える仕事』
ちくまプリマー新書	中高生が興味ある身近なテーマが多く読みやすい。	『ルールはそもそもなんのためにあるのか』
ポプラ新書	児童書の出版社。現代的テーマを扱う本が多い。	『スマホを捨てたい子どもたち』
ちくま新書	初心者向けが充実。「入門」「講義」の書名多い。	『ヴァイトゲンシュタイン入門』
ブルーバックス	幅広い自然科学分野の本。理系の必読本	『図解 気象学入門』
岩波新書	日本で一番目と二番目に歴史があるシリーズ。	『循環経済入門』
中公新書	学術的な内容で入試問題に出題されるものも。	『ケアとは何か 看護・福祉で大事なこと』

そのほか、講談社現代新書・光文社新書・集英社新書・文春新書などなど色々あります。直接見に来てください。

今月の新着図書Pickup!



『忍者学研究』 山田雄司 三重大学国際忍者研究センター 中央公論新社

世界でも「Ninja」として知られた忍者を研究し11年になる三重大学が読売新聞伊賀・三重版で連載している「三重大発！忍び学でござる」を再編集した書籍の2冊目です。歴史・文学・微生物学・環境学・中毒学・力学・工学・気象学・防災学などを専門とする研究者がそれぞれの観点から忍者・忍術について執筆しています。

『アーティストのための美術解剖学 デッサン・漫画・アニメーション・彫刻など、 人体表現生態観察をするすべての人に』 ヴァレリー・L・ウインズワウ マール社

「イラストを描くため」「骨格や筋肉についての本」を探している人がいました。この本はいかがでしょう。難しい所もありますが、参考になるのではないのでしょうか。レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロの図も一枚づつ載っていて美しい図版での解説があります。表現するために必要な資料について具体的にお知らせできると探することができます。教えてください。

『続 窓ぎわのトットちゃん』 黒柳徹子 講談社

アニメ映画化される「窓ぎわのトットちゃん」（文庫本で入りました。）の続編です。『窓ぎわのトットちゃん』は青森に疎開するところで終わっている。東京大空襲の数日後の場面だ。「私が経験した戦争のことを書き残しておきたいと考えたことが、書くきっかけの一つ」（本文）42年ぶりに再会したトットちゃん。みんなも出会ってほしいな。



冬休み貸出：12日～

冊数：8冊まで

返却期限：1月10日(水)

冬休み中、図書館は休館。

新着速報版を入口前に掲示します！

